

## 設備標準図利用方法、及び取扱いについて

建築確認申請書の建築基準法施行規則に基づく設備関係図書の標準図を作成しましたのでご利用ください。

木造3階建ての一戸建て住宅の建築確認申請時の添付図書としてご利用できる設備標準図として掲載いたしました。

1. 設備標準図ご利用方法及び取扱い  
各標準図にそれぞれチェックボックス「□」がありますので該当するチェックボックスにチェックを記入して建築確認申請時に添付図書としてご利用ください。
2. LPガス設備の設置について  
LPガス設備については高圧ガス保安協会編集の「LPガス設備設置基準及び取扱要領」を参考に、明示すべき内容を記載してください。
3. 建築基準法施行令第112条等の防火区画が必要な場合は、添付図書に配管材料等の明示をして、ご利用ください。

お問い合わせ先

(株)神奈川建築確認検査機関

☎252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野7-8-10 大塚ビル2階

TEL 042-701-3935

FAX 042-701-3945

(参考)

財団法人 建築行政情報センターのホームページには、「改正建築基準法施行規則に基づく設備関係図書の記載例」が掲載されております。

1. 建築設備標準図添付用表紙

2. 建築設備標準図 ー 1 頁

- ・ 給水接続
- ・ 給水系統（直圧の場合） 1
- ・ 給水系統（直圧の場合） 2
- ・ 流し廻り給排水
- ・ 便所廻り給排水
- ・ 浴室廻り給排水
- ・ 洗面器廻り給排水
- ・ 給湯器廻り給排水
- ・ ガス引込（都市ガス）
- ・ ガス系統（都市ガス）
- ・ ガス引込（LPガス）
- ・ ガス系統（LPガス）
- ・ 排気装置の種類による換気扇等の有効換気量
- ・ 排気フードⅠ型の詳細図
- ・ 排気フードⅡ型の詳細図

3. 建築設備標準図 ー 2 頁

- ・ 排水接続（合流の場合）
- ・ 排水接続（分流の場合）
- ・ 排水接続（雨水側溝放流の場合）
- ・ 排水接続（雨水が敷地内雨水浸透柵の場合）
- ・ 電力引込
- ・ 各室電気経路
- ・ 電気設備系統図
- ・ 排水設備系統図
- ・ 給水管、配電管その他の管が防火区画等を貫通する部分の位置及び構造  
（平面図、系統図）

建築設備関係設計図書添付書類

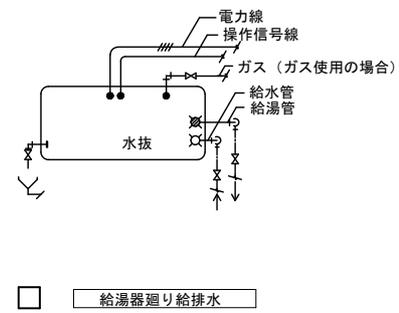
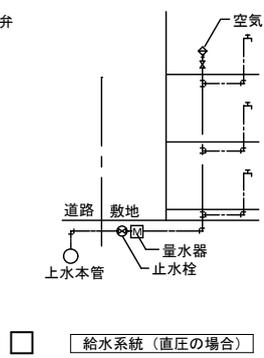
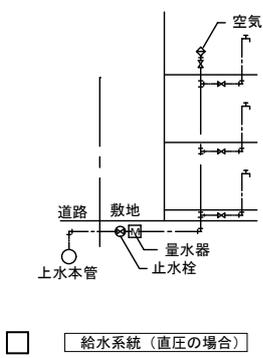
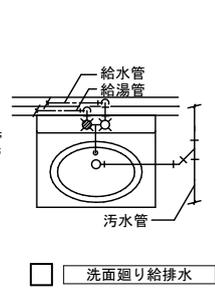
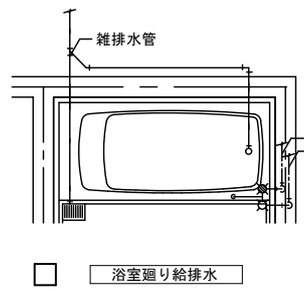
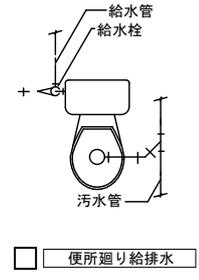
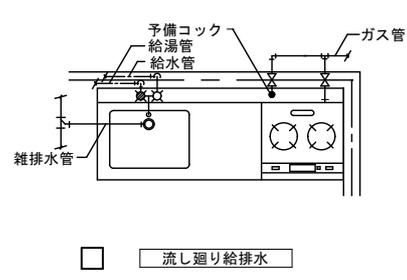
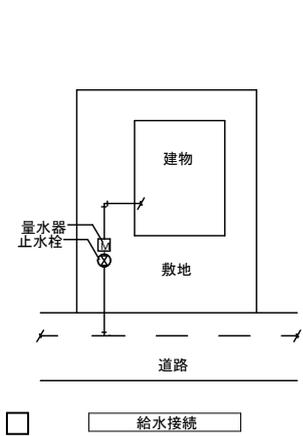
( ) 建築士

建築士番号

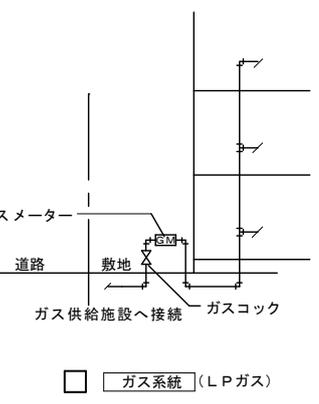
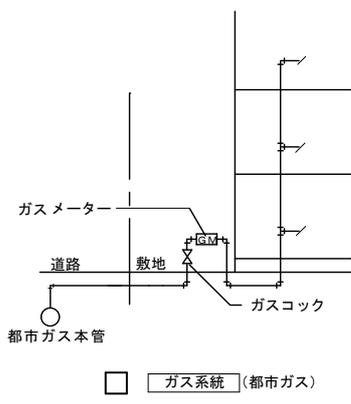
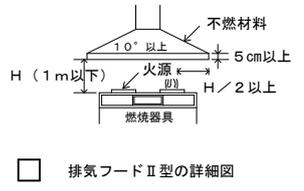
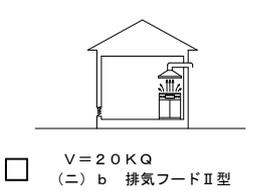
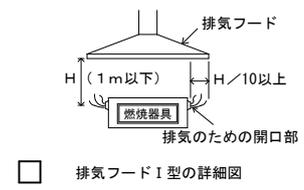
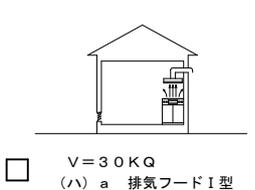
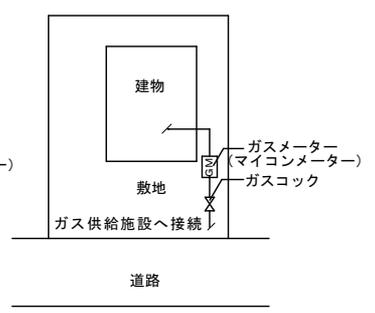
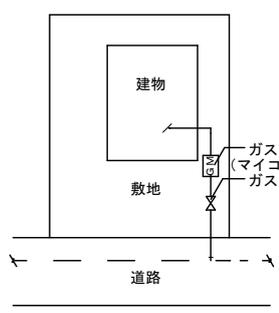
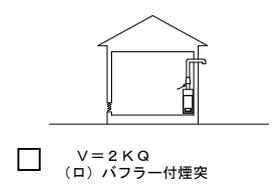
氏名

印

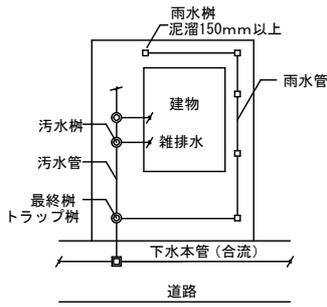
# 建築設備標準図



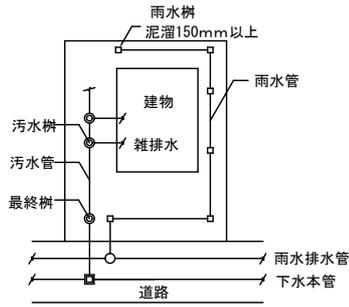
火を使用する設備の換気  $V = NKQ$   
 参考  $V = 40KQ$  又は  $V = 30KQ$  の選択  
 \* 理論排ガス量 (K) 都市ガス、LPガス :  $0.93m^3/kw \cdot h$   
 \* 燃料消費量 (Q) ガスコンロ : 標準 (3口)  $9.6kw$  最大  $12kw$



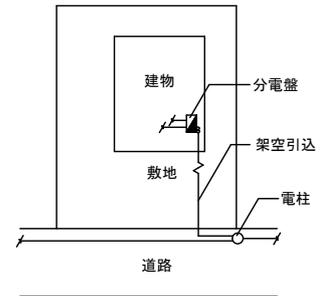
# 建築設備標準図



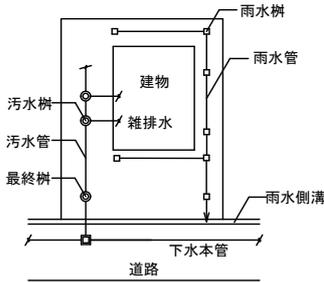
排水接続（合流の場合）



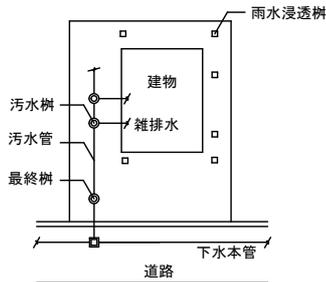
排水接続（分流の場合）



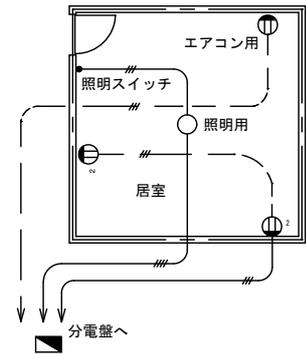
電力引込



排水接続（雨水が道路側溝接続の場合）



排水接続（雨水が敷地内雨水浸透樹の場合）

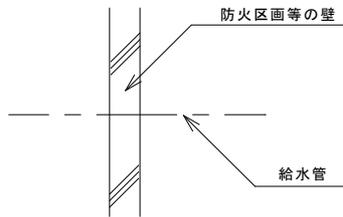


各室電気経路

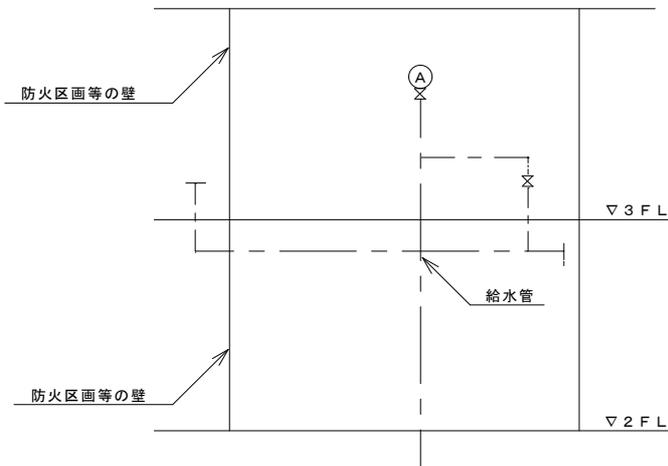
共通：配管勾配は自治体の条例、あるいは要綱による。

●給水管、配電管その他の管が防火区画等を貫通する部分の位置及び構造

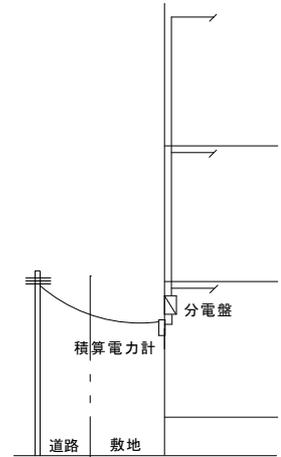
【平面図】



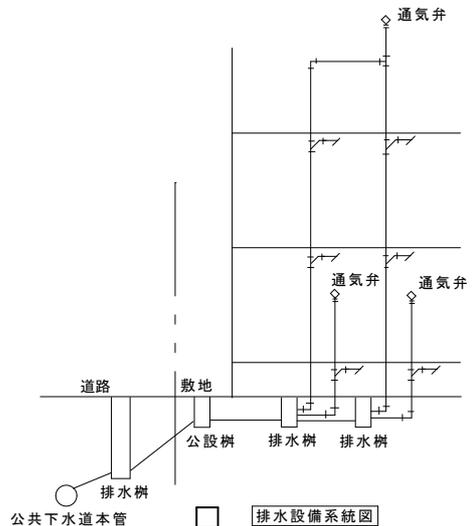
【系統図】



・当該貫通する部分からそれぞれ両側に1m以内の距離にある部分を不燃材料で造る。  
（令第112条の15、及び令第129条の2の5の1の7による。）



電気設備系統図



排水設備系統図